

## 編集後記

< \* > 昇竜のごとく急成長する革新技术の開発過程にも、停滞と飽食の時節はある。折々に健康診断と軌道修正が必要であろう。今回は四ッ柳先生、スペインの Valcarcel, Luque de Castro 両先生（本号の書評欄を参照）に、思春期にさしかかった F I A の健康診断と機能向上策を具体的に提起していただいた。

< \* > マニュアル法の操作をフロー法におきかえるだけの改善作業は、もはや " F I A s t " の主たる使命ではない。F I A の原理を基盤として、周辺技術も組み合わせ、相乗的に高機能化し、従来のマニュアル法では不可能であったことを可能にすることが、今後の F I A の新展開への道であると筆者は理解し、賛成である。

< \* > いよいよ日本ではじめての F I A に関する国際学会を開催することになりました。石橋先生の経緯と展望（指標）、本水先生の国際学会紹介（海外報告）をご参照ください。

< \* > オリジナル論文 2 編、新刊書評 2 編を掲載しました。不慣れ（久しぶりの編集？）のため、総説をアレンジするのを忘れてしまった。

< \* > 第 9 回フローインジェクション分析研究会講演会が大阪府立大学で開催されます。詳細は本誌の お知らせ 欄をご参照ください。

< \* > 次 2 号（12 月発行）の投稿原稿の締切は 10 月末日です。提出された原稿（A4 サイズ）をそのままオフセット縮刷（B5）します。詳細は前号（4 巻 2 号）を参照して下さい。なお、投稿予定の方は題目、著者名、連絡先（電話）を 8 月末日までに編集委員へ予告して下さい。

< \* > F I A 研究会の事務局（入会手続、経理、その他）は  
〒 812 福岡市箱崎 6-10-1 九州大学工学部応用化学教室  
電話 092-641-1101, 内線 5623 （今任稔彦）  
会誌の編集関係（投稿など）のみは  
〒 812 福岡市箱崎 6-10-1 九州大学理学部化学教室  
電話 092-641-1101, 内線 4233 （与座範政）

< \* > ご意見をお寄せください

（与座 範政）